

きずな

ごあいさつ

ポプラ管理者兼

サービス管理責任者

中山 善美

寒暖の差が大きくなり、木々の葉がいろどり美しい季節になりました。

今年は、年明けとともに、新型コロナウイルスが流行りだし、感染拡大予防対策に追われ、楽しみにされていた色々な行事が、中止や順延に追い込まれました。毎日の暮らしも、マスクの着用と手洗い、三蜜を避ける等の対策を取り入れた新しい生活様式が求められている今日この頃です。

さて、この度、令和2年4月1日付けで、ポプラ管

ポプラ

支援員 當 洋彰



理者兼サービス管理責任者を拝命いたしました。当法人の理念であります「その人らしい幸せづくりを支援します」という言葉のもつその人らしい生き方に少しでも寄添って支援できるように、取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

令和2年 第60号
社会福祉法人 賀光会
救護施設 賀光寮
障害福祉サービス事業所
(生活介護) ポプラ
発行人：川端 健高
藤井寺市藤井寺4-11-8
TEL 072-955-0653
FAX 072-955-0905
E-mail : gakoukai@gone.jp
http : //gakoukai.gone.jp

会に採用され、ポプラに配属となりました。

着任後、半年以上が経過し、利用者の皆様とは、徐々に打ち解けてきたように思います。しかしなにも多く、利用者の皆様や上司の方々に助けていただいております。賀光会の理念である、「その人らしい幸せづくりを支援します。」を理念どおり実行できるように努力してまいりますので、よろしくお願致します。



賀光寮

支援員 松浦 英樹

今年1月から支援員としてお世話になっております、松浦英樹と申します。

毎日利用者の皆様が快適に過ごせるように、利用者の皆様の気持ちを重視し、入浴、居室の清掃などの支援をしています。支援をしながら私自身も勉強させていただいています。

コロナの影響で、3密を防ぐため、マスクの着用や手洗いを励行するようになり、今までの生活が一変しました。

支援の時は、手洗い、うがい、手の消毒、マスクの着用、毎朝の検温など感染対策をしっかりとしていきたいと思えます。

初めての事ばかりでたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、先輩方にご指導していただきながら頑張っていきます。

総務課事務員兼

賀光寮支援員

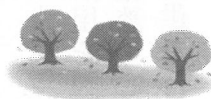
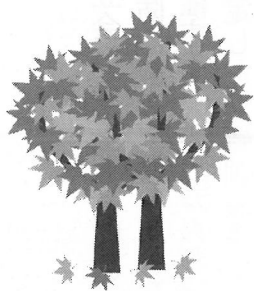
中村 太郎

令和2年4月1日付けで、総務課事務員兼支援員で採用された中村太郎です。

採用前は、いろいろと不安も多かったですが、利用者の皆様が温かく迎えてくださり、とても嬉しく安心しました。

また、作業やリハビリを頑張ったり、互いに配慮し支えあって生活させてもらっています。

総務課と支援課の兼務で覚えることも多いですが頑張っていきます。よろしくお願致します。



【救護施設 賀光寮】

令和元年度賀光寮事業報告骨子

社会福祉法人制度改革がすすむ中、賀光寮においては、組織のガバナンスの向上はもとより、利用者と地域からより信頼される「賀光寮」を目指し、地域貢献を目的とした実践を重ねてまいりました。地域における公益的な取り組みを積極的、継続的に行うため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援に取り組ましました。

また、地域の保育所、小学校、こども会、自治会等への陶芸教室の実施協力、高齢核家族等への環境整備等、地域に向けての貢献活動を行いました。

利用者支援につきましては、法人の理念、基本方針に基づき、次のことを運営方針とし、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいりました。

そして、厚生労働省から令和2年2月28日付け事務連絡として発出された「新型コロナウイルス感染症防止のための社会福祉施設等の対応について」を受け3月下旬から新型コロナウイルスの感染予防対策と感染拡大の防止対策に努めました。

令和元年度の「賀光寮」運営方針は

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 法令遵守

III 専門性の向上

IV 経営の安定、透明化

V 地域共生と啓発

で具体的な内容は以下のとおりです。
生活支援

利用者の個別支援計画と利用者自治会での意見や個別の意向を尊重し、利用者の主体性を大切にし、日常的な作業、通院、生活支援を中心に生活相談、作業療法、各種行事や娯楽活動などの支援を実施しました。

自治会活動

賀友会(利用者の自治会)の定例会で、健康管理、生活等の課題や要望について話し合い、行事・レクリエーションなどに利用者の意見を反映しました。食事に関しては、給食委員会において、賀友会の意見を取り入れ、季節を感じ、美味しく食事をしていただけようイベント食などで献立に変化をつけました。

居宅生活訓練事業及び保護施設通所事業による地域移行支援

地域移行を目指す利用者に生活技能の向上を目的とした支援を実施するとともに、地域移行に際しては住居の確保や必要物品の購入など、必要な支援を行いました。

居宅生活訓練事業に参加している利用者に金銭出納、食事内容確認、栄養相談、健康相談や火の始末等の安全管理に関する支援を行いました。

保護施設通所事業は3人の方が利用されました。

災害対策

6月に、消防署の立会いの上で、夜間の火災を想定した避難・消防訓練を実施しました。9月に、大阪府が主催する「大阪80万人訓練」にあわせて地震を想定した避難訓練を実施しました。

この時に、備蓄食料の賞味期限の確認と、備蓄食の炊き出し、喫食訓練を行い、また、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を行いました。震災等の災害時に、避難場所として地域の地域の方々へ貢献するための備品、食料等を準備しました。

苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談や心理相談員による生活相談の機会を提供を行いました。

地域貢献

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を目的に、「パープル&社協フェスタ」(藤井寺市社会福祉協議会主催)、「南藤井寺ふれあい祭り」(南藤井寺地区主催)等の地域行事に藤井寺市社会福祉連絡会や地元町会と連携し、計画段階から参加しました。ボランティア、社会福祉現場実習、介護等体験の受け入れを行いました。

恒例の賀光会バザールを10月に開催、もちつき大会を12月に実施しました。

【生活介護ポプラ】

令和元年度ポプラ事業報告骨子

ポプラでは、法人の理念、基本方針に基づき、利用者一人ひとりが輝き潤いのある生活を
実現できるよう、日中活動の充実と安定した
経営を第一の課題として、質の高いサービス
提供と事業運営に努めてまいりました。

また、「楽しい時間が過ごせるプログラムの
設定」や「個別支援計画に基づくサービスの
提供」を基本姿勢とし、サービスの質の向
上及び職員の資質向上に取り組みました。

そして、厚生労働省から令和2年2月28日
付事務連絡として発出された「新型コロナウイルス
感染防止のための社会福祉施設等の
対応について」を受け、3月下旬から新型コ
ロナウイルスの感染予防対策と感染拡大の
防止対策に取り組みました。

令和元年度「ポプラ」運営方針は

- I 総合的な福祉サービスの提供
 - II 喜びを実感できる生活の実現
 - III 安心、安全な支援と管理
 - IV 専門性の向上
 - V 経営の安定、透明化
 - VI 地域共生と情報発信
- で具体的な内容は以下のとおりです。

生活支援

利用者の同意に基づいて作成した個別支
援計画を基に①生産活動、②創作的活動、③
社会体験、④レクリエーション、⑤生活相談、

⑥理学療法などのプログラムの提供と支援
を行いました。

生産活動

生産活動は、利用者が働く喜びを実感し、
やりがいを持って、自己実現できる機会とな
るよう創意工夫しました。3業者からの受託
による作業を実施しました。作業内容は、木
工用ボンドの袋詰め、オイル容器のシール貼り、
洗剤のシリンク入れ、連絡ノートのカバー付け、
ヘアピンの差し金揃えです。

レクリエーション

生活支援の一環として位置づけ、日常と違
った変化のある行事や活動をとおして、色々
な場面で違った視点で支援することを目的
として、実施しました。

ひまわりの会(利用者自治会活動)

毎月1回、計12回、実施しました。利用者が
主体的に活動し、おやつ作り、創作活動、社会
体験や、趣味及び興味を取り入れた楽しみの
あるプログラム(DVD鑑賞)の内容等を検
討しました。

社会体験

花見は、利用者の希望を募り、4月2日か
ら5日の4日間で、石川河川敷公園とシユラ
ホール、賀光会敷地内の桜の木の下で実施し
ました。上半期の日帰りの社会体験は、「咲く
やこの花館」の見学を7月10日、11日、12日の
日程で実施し、下半期は、「海遊館」へ11月18日、
20日、25日、26日の日程で実施しました。

災害対策

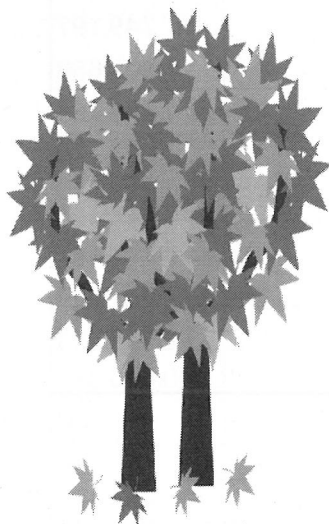
6月に、消防署の立会いの上で、昼間の火
災を想定した避難・消防訓練を実施しました。
訓練にあたって、昨年を引き続き、「火元を
発見し火災発生を知らせる役割」を利用者の
中から選出し、主体的に訓練に参加してい
ただけるように工夫しました。

9月に大阪府が主催する、「大阪880万人訓練」
にあわせて地震を想定した避難訓練を実施
しました。この時に、備蓄食料の賞味期限の
確認と、備蓄食の炊き出し、喫食訓練を行い、
また、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防
災機器の点検を行いました。

地域貢献

四天王寺大学の社会福祉現場実習生2人(延
べ14人)、介護等体験生6人(延べ12人)の受
け入れを行いました。

西浦支援学校が行う「夏季施設実習」として、
高等部の生徒1人、藤井寺市立第三中学校の
職業体験生2人(延べ6人)を受け入れました。



【令和元年度 社会福祉法人 賀光会 決算報告】

貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	77,239,632	流動負債	10,917,578
現金預金	56,706,312	事業未払金	7,092,698
事業未収金	18,668,594	預り金	18,580
貯蔵品	79,181	職員預り金	△153,019
立替金	1,676,535	賞与引当金	3,959,319
前払金	109,010	固定負債	5,476,127
仮払金	0	退職給付引当金	5,476,127
固定資産	322,938,360		
基本財産	158,793,442		
土地	4,469,523		
建物	134,323,919		
定期預金	20,000,000		
その他の固定資産	164,144,918		
建物	483,924		
建物附属設備	13,537,185		
建築物	1,082,290		
車両運搬具	1,121,971		
器具及び備品	6,133,701		
権利	26,227		
ソフトウェア	82,944		
退職給付引当資産	6,103,856		
人件費積立資産	33,500,000		
施設整備等積立資産	102,000,000		
その他の固定資産	72,820		
資産の部合計	400,177,992	負債の部合計	16,393,705
		純資産の部	
		基本金	113,971,686
		国庫補助金等特別積立金	99,166,377
		その他の積立金	135,500,000
		次期繰越活動増減差額	35,146,224
		純資産の部合計	383,784,287
		負債及び純資産の部合計	400,177,992

資金収支計算書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位:円)

科目	金額
事業活動収入計	209,110,296
事業活動支出計	194,303,468
事業活動資金収支差額	14,806,828
施設整備等収入計	87,937
施設整備等支出計	5,599,978
施設整備等資金収支差額	△5,512,041
その他の活動収入計	721,648
その他の活動支出計	6,454,752
その他の活動資金収支差額	△5,733,104
当期資金収支差額合計	3,561,683
前期末支払資金残高	66,719,690
当期末支払資金残高	70,281,373

事業活動計算書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(単位:円)

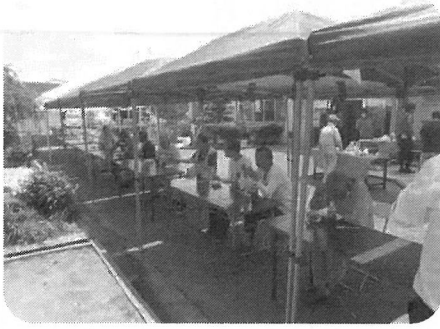
科目	金額
サービス活動収益計	206,559,441
サービス活動費用計	200,861,935
サービス活動増減差額	5,697,506
サービス活動外収益計	2,550,855
サービス活動外費用計	749,197
サービス活動外増減差額	1,801,658
経常増減差額	7,499,164
特別収益計	0
特別費用計	△4,122,171
特別増減差額	4,122,171
当期活動増減差額	11,621,335
前期繰越活動増減差額	29,024,889
当期末繰越活動増減差額	40,646,224
基本金取崩額	0
その他積立金取崩額	0
その他積立金積立額	5,500,000
次期繰越活動増減差額	35,146,224

賀光会一大イベント バーベキュー

支援員 青柳 達雄

令和2年6月17日、賀光会の一大イベントのバーベキューが行われました。

今年は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、利用者への感染を防止するため、人が集まるイベントは中止の方向に向けていましたが、職員みんなで相談し、利用者の皆さんの楽しみが全て無くなってしまう味けない生



バーベキュー会場の様子です



煙がもくもく、お肉を焼いています～

活になるので、密集、密接、密閉を避ける方策をとり実施しました。

天気が晴れの場合に、ソーシャルディスタンスをとるため、屋外と食堂を利用し、食事の席を用意し、分散を図りました。横一列で座り1テーブルに2人で座ることにしました。また、テントの数を増やし予備席を準備しました。

食堂での喫食希望の方は1階の利用者と2階の利用者で時間を分けてバーベキューを食べていただきました。

一つのテーブルに対面で座らずに横一列に並んでいた、窓を開けいづでも換気出来るようにしました。

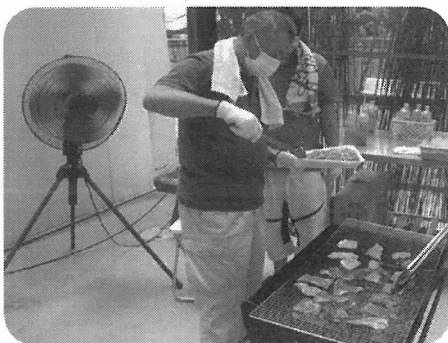
天候にも恵まれ、またテントを張っておいたことで会場の設営もスムーズに行われました。バーベキューコンロの準備も万全に出来て炭に火を入れるのが予定より早くでき、いい具合に炭に火が入り、バーベキューが開始されました。



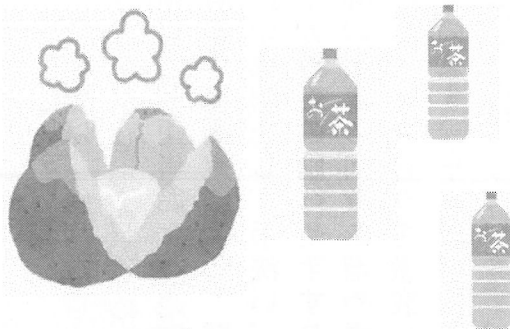
お肉とトウモロコシが焼けたよ!!

牛ロース、バラ、ハラミ、ミノ、ウインナー、野菜炒めが出来上がっています。どの具材も、美味しく焼きあがっています。焼きあがると直ぐに、たくさん利用の方が、笑顔で「おいしい」と言われていました。

皆さんお腹一杯に食べられ喜ばれていました。利用者の皆さんにマスクの着用、手洗い、手指の消毒の協力をしていただけましたので、バーベキューは成功しました。新型コロナウイルスが、いつまで続くのか予測が付きませんが、来年もバー



焼けたよ～お肉をとりききて!!



ベキューが出来るように努力し、利用者の皆さんに楽しくバーベキューを楽しんでいただきたいと思います。

バーベキュー ポプラ

ポプラ支援員 當 洋彰

梅雨の晴れ間にのぞく
青空がまぶしく、夏を感じ
る6月17日(水)に、利
用者の皆様が待ちに待っ
た、賀光会の大イベント
のバーベキューを行いました。

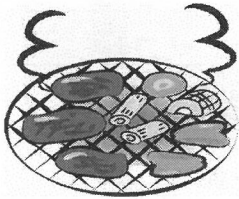
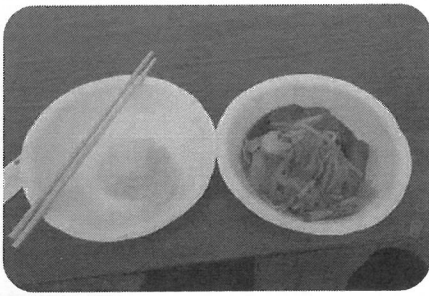
今年は、新型コロナウイルス
感染拡大予防対策を
徹底し、密集・密接・密閉に
ならないよう、席の位置を
工夫し、会場は、賀光会
の職員や賀光会の利用者
の数名と一緒に準備しま
した。

11時頃になると、ポ
プラ棟内に居た皆様は、外
の様子に気がなり始め、
窓の外を眺めたり外に出
て様子をみられる方もい
ました。

バーベキューの準備が
整い、食事が始まると、牛
ロース、バラ、ハラミ、ミノ、
ウインナー、野菜炒め、ジ
ヤガバター、おにぎりを
配膳し、好きなものをお
かわりされて、お腹いっぱ
い笑顔で食べられていま
した。普段は野菜を食べ
ない利用者の方が、この日は、
メニューのひとつの、野菜
炒めをもりもり食べてい
る姿を見て、支援員も嬉し
くなりました。

バーベキュー終了後に
利用者の皆様に感想を伺
うと、「肉、美味しかった。」
「お腹いっぱいお肉食べま
した。」と大
いに満足さ
れていまし
た。

美味しそうな、焼肉とおおすび!!
いただきます～



ソーシャルディスタンスをとり、予備席を増やしました



日差しが強かったので、テントを沢山張りました



お肉やウインナーは、
希望者には、食べやすいようにカットしました



おおすびも
好評でした

編集後記

今年度は、新型コロナウイルス
ウィルスの感染予防のため、
職員と利用者および来客
者の体温測定による、発
熱の確認をし、手洗い、
手の消毒の励行や手すり
等の消毒の回数を増やす
など、衛生管理を徹底し
ています。早く最終する
ことを願っています。
そんなこともあり、今
回の「きずな」は、社会
福祉法人賀光会に新しく
入職された職員の紹介と、
バーベキューをおこなっ
た楽しい様子を記事にし
ました。



炭のそばは、熱い熱い!! 扇風機も使いました